



医療機器のスペシャリスト

臨床工学技士の紹介

臨床工学技士(Clinical Engineer)は、**医療機器のスペシャリスト**として、病院などで生命維持に関わる**装置の操作・保守・点検**を行っています。近年では医師のタスクシフト推進の背景もあり、手術の直接助産業務や内視鏡関連業務に参入するようになりました。

又、機器管理のみならず、材料管理にも携わることで、現場における過不足のない在庫調整を行うとともに、材料経費の抑制に働きかけることで、**臨床現場と経理課の中間役として病院経営に助力していくことを目標**としています。

Topic 01 臨床工学技士の仕事について

臨床工学部では、高度化する医療に対応すべく、業務を「透析領域」、「臨床領域」、「工学領域」の3部門に分け、組織的かつ専門的に活動できるよう体制を整えています。

透析領域: 人工透析業務、医師診療補助、急性期血液浄化、顆粒球除去療法等

臨床領域: 心臓カテーテル室、内視鏡室、手術室、人工呼吸器管理、エコー介助等

工学領域: 医療機器の保守管理、修理、院内の講習会等

透析領域

人工透析業務

装置の操作や保守のみならず、穿刺や心胸比測定、透析液清浄化などを担当します。



医師診療補助

医師の労務軽減とより良い患者様のフォローを目的に回診補助、年間検査、採決データ確認など医師と連携しています



バスキュラーアクセス管理

エコーを活用して狭窄の有無、血流量などを測定し安定した透析の実施に努めています。

臨床領域

心臓カテーテル室

冠動脈造影検査・治療時の清潔介助や血管内超音波の判読、ペースメーカーの在宅モニタリングや外来での動作確認等を行っています



内視鏡室

上部、下部内視鏡やEUSなどの検査からERCP、ESDなどの治療にも介助を行っています。



手術室

麻酔器や電気メスなどの点検、整形外科手術の清潔介助、外科腹腔鏡下手術のスコープオペレーターなどを担っています

工学領域

医療機器管理

病院で稼働している医療機器を中央管理し点検・修理・廃棄を一元管理を行い、安全に使用できる体制を整えています



Topic 02 患者さんのニーズに応える

GCAP(顆粒球除去療法)治療

当院ではIBDセンターを設立しており潰瘍性大腸炎やクローン病に対する血液浄化療法のGCAPを多く治療しています。また患者さんのニーズに応えるため土曜日にも治療枠を設定しています。



ペースメーカーホームモニタリングの導入

ペースメーカー外来では3～6か月に一度外来診察にて動作確認を行っていましたが、ホームモニタリングを導入し、約1年に1回の外来フォローで管理が行えるため患者さんの負担軽減に寄与しています。



Topic 03 地域医療に貢献する

臨床工学部では次世代を担う臨床工学技士育成のため、学生実習の受け入れを行っています。臨床工学技士として基礎的な実践能力を身につけ、患者さんへの対応を臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての役割とこれに伴う責任意識が備わるよう、実技や体験を主体とした臨床実習を行っています。

Topic 04 臨床工学部対応実績(2024年度)

分類	業務	件数	分類	業務	件数	分類	業務	件数
透析	シャントエコー	430	心臓カテーテル室	CAG	28	消化器内視鏡 (病院総件数)	上部内視鏡	5494
	VAIVT	30		PCI	11		下部内視鏡	1659
	GCAP	806		PMI	1		EMR	560
	シャント作製術介助	30		遠隔モニタリング	682		ESD	73
手術 (清潔介助数)	腹腔鏡下手術	46	エコー介助	腎・肝生検介助	19	医療機器管理	中央管理機器数	844
	整形外科清潔介助	89		PTGBA/PTGBD/PTC	19			
				腹水/胸水ブク	7			

Topic 05 臨床工学部紹介



臨床工学技士14名
中材助手2名

医学と工学の両面の知識が求められる「命のエンジニア」として医師や看護師と連携しながら患者さんの治療を支える存在として尽力していきます

<スタッフから一言>



主任臨床工学技士
山口 直紀

我々臨床工学部一同は、患者ファーストをモットーに多種多様な現場で患者さんに最良の治療となるよう働いています！



四日市羽津医療センター 地域医療連携室 すずらん

〒510-0016 四日市市羽津山町10-8 病院代表TEL：059-331-2000

すずらん直通TEL：059-331-6003 すずらん直通FAX：059-331-6004

